

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和4年11月10日（木曜日）

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前11時 6分 散会

付託事件

- (1) 令和3年陳情第6号, 令和4年陳情第5号
- (2) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 陳情審査

- ① 令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情
- ② 令和4年陳情第5号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し, すべての農家経営への支援策強化を求める陳情

(2) 報告事項

- ① 秋の商工マルシェ（第47回水戸市商工祭）について (商工課)
- ② 市場開設50周年記念事業「市場まつり」について (公設地方卸売市場)
- ③ 水戸市公設地方卸売市場の都市計画の変更について (公設地方卸売市場)
- ④ 令和5年水戸市消防出初式について (消防総務課)

(3) その他

2 出席委員（6名）

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	渡辺政明君	委員	内藤丈男君
委員	五十嵐博君	委員	安藏栄君

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（なし）

5 説明のため出席した者の職, 氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	長谷川昌人君	産業経済部参	川崎幹男君
産業経済部参事兼観光課長	小林一仁君	商工課長	楡崎芳明君
農政課長	後藤俊之君	農業環境整備課長	三村隆君
農産振興課長	永盛光郎君	公設地方卸売市場長	宮田正一君

消防局長 大内 康弘 君 消防次長 勝村 俊則 君

消防局参事 箕輪 重美 君 北消防署長 石田 宏一 君

南消防署長 猿田 純夫 君 消防総務課長 大信 成人 君

火災予防課長 河原井 豊 君 消防救助課長 高島 和巳 君

救急課長 栗原 政人 君

農業委員会
事務局 局長 横山 英雄 君 農業委員会
事務局 次長 吉川 正浩 君

6 事務局職員出席者

書記 大内 しおり 君 書記 堀江 良 君

午前10時 0分 開議

○飯田委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

日程に入ります前に、この際、執行部より発言を求められておりますので、これを許します。

三村農業環境整備課長。

○三村農業環境整備課長 おはようございます。

委員会の貴重なお時間をいただきまして、農業環境整備課より質疑の訂正をさせていただきます。

一昨日の11月8日、産業消防委員会の議案第78号の質疑におきまして、各土地改良区の1か月の値上げ電気料金について御答弁させていただきましたが、再度確認したところ、事実と差異がございました。

今回、対象となる8つの改良区において、最も値上がりした額は1か月当たり約600万円であったため、大変申し訳ございませんが、この場をお借りして訂正させていただきます。

以上でございます。

○飯田委員長 それでは、これより日程に入ります。

初めに、陳情審査を行います。

当委員会に付託され継続審査となっております、令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情及び令和4年陳情第5号 「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める陳情につきましては、本日のところは継続審査にいたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 御異議なしと認め、継続審査といたします。

以上で陳情審査を終わります。

次に、報告事項の説明を行います。

それでは、初めに秋の商工マルシェ（第47回水戸市商工祭）について、執行部より説明願います。

楢崎商工課長。

○楢崎商工課長 それでは、秋の商工マルシェ（第47回水戸市商工祭）につきまして、商工課提出の資料に基づきまして御説明いたします。

初めに、1の開催目的でございます。

秋の商工マルシェにつきましては、地場産品等を広く紹介する展示や販売のほか、各種イベント等を実施し、市内商工業者を支援するとともに市内経済の活性化を図ることを目的に開催するものでございます。

2の日時につきましては、今月19日土曜日と20日日曜日の2日間の開催でございます。荒天の場合は中止とする場合もございますが、基本的には雨天でも決行でございます。

時間につきましては、19日土曜日は午前9時から午後4時まで、20日日曜日は午前9時から午後3時までとなっております。

また、開会式につきましては、19日土曜日の午前9時から執り行う予定としてございます。

3の会場につきましては、昨年度と同様にリリーアリーナMIITO（青柳公園市民体育館）、それからその駐車場を利用しまして開催いたします。

資料の裏面に会場の案内図を掲載させていただいておりますので、後ほど御参照をお願いいたします。

4の主催につきましては、水戸商工会議所を中心とした商工祭実行委員会でございます。

5の開催内容でございますが、主なものといたしまして、水戸の地場産業展をはじめ、飲食コーナーや県産品特設コーナーにおける販売等のほか、子ども向けのイベント、各種体験イベントなども実施してまいります。

6の広報につきましては、「広報みと」や市ホームページへの掲載をはじめ、新聞折り込みや市内小学校等を通じた案内チラシの配布などを行ってまいります。

7の感染予防対策についてでございますが、会場入口での来場者全員の検温の実施や、手指消毒、マスク着用の呼びかけ、出店ブースへの飛沫感染対策ビニールシートの設置などの対策を講じてまいります。

説明につきましては以上でございます。

○**飯田委員長** 内容につきまして、何か御質問等がございましたら発言を願います。
ないですか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○**飯田委員長** ないようですので、次に市場開設50周年記念事業「市場まつり」について、執行部より説明願います。

宮田公設地方卸売市場長。

○**宮田公設地方卸売市場長** それでは、市場開設50周年記念事業「市場まつり」について、公設地方卸売市場提出の資料により御説明いたします。

まず、開催の目的でございますけれども、取扱高日本一を誇ります当卸売市場内の事業者が連携し、開催する各種イベントを通して、市場の役割や生鮮食品等に関する市民の皆様の理解の醸成を図り、市場の活性化や消費の促進を図るために行うものでございます。

また、本年、市場開設50周年の節目の年に当たりますことから、市場開設50周年記念事業の冠をつけて、11月20日（日）午前7時45分から午後1時まで、青柳町の公設地方卸売市場において市場まつりを開催してまいります。

6の内容につきましては、マグロ解体ショー及び即売会、冷凍庫入庫体験、模擬競りなどを予定しております。

なお、お手元にチラシを添付してございますので、御参照願います。

説明につきましては、以上でございます。

○**飯田委員長** 内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。
渡辺委員。

○**渡辺委員** 市場まつりの御報告をいただきありがとうございます。

ちょうど市場開設50周年記念の事業で行われるということなんですけれども、これ聞く前にひとつ聞いておきたいのは、12月の末にも何か市場でやりましたよね、市民向けの何かイベント、あれとこれは別

個という考え方でいいですか。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 年末に毎年開催していますが、年末感謝市ということで年末の27日から30日ぐらいまで行っております。今回のイベントはそれとはまた別個の開催ということになります。

○渡辺委員 そうすると年末もやるんだね。

○宮田公設地方卸売市場長 はい、年末のほうも行います。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 このコロナで市場も非常になかなか市民と接するという機会も少なくなっていたという中で、やはりこれは市民にサービスするということよりも、むしろ安全で安心な食を提供しているというようなことをしっかり伝える役割があるのかなと思っておりますので、50周年ということで盛り上げていただきたいんですけども、内容は聞くと何かいつも例年やっているようなものとあまり代わり映えがしないような気もしないでもないんですけども、何かほかはないんですか、目玉は。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 例年やっているもののちょっと規模を拡大したようなバージョンとなっておりますけれども、新規の取組といたしまして、市内の小学校児童による管楽合奏演奏、それから水戸ホーリーホックをはじめ地元の3つのクラブチーム、こちらによる特設ブースなどを設けております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 きっと来場者も楽しみでしょうし、例えばこの小学校の金管合奏部が演奏なんていうと必ず父兄だのおじいちゃんだのおばあちゃんが必ず来るんでね、やっぱりそういう部分では興味のない方にも来ていただくということでもいい仕掛けだなと思っております。

9時30分からのフォークソング演奏というのは、これ、一礼土曜一座というの、何て読むの、これ。これはどういう団体なの。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 読み方としては、「いちれいどよういちぎ」と申します。こちらのグループですけれども、平成26年に50から60歳くらいの音楽好きの仲間が演奏を楽しむために結成した愛好団体ということになります。市場関係者も参加しているということから、今回の参加ということになっております。

○渡辺委員 ありがとうございます。

これが目玉だね。中年の人に楽しんでもらうということで、やっぱりこれをPRしないとね、みんなに。そうするとまた、全然違うジャンルが集まってくるかもしれないですね。

それで、今回、この開催に当たっては、卸、仲卸、関連店舗がみんな集まっているいろいろ協議してこう決まったというふうに私は考えているんですけども、何か課題とか問題とかそういうものはその議論の中では出ていませんでしたか。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 課題といたしますか、今回開催が日曜日の開催にしておりますので、日曜日とい

うのは卸業者さん、中の業者さんがお休みの日ですので、職員の方が動員ということでちょっとその辺いろいろありまして、休日出勤という形で出ていただくような形になっております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 分かりました。

日曜日ということで、なかなか皆さんお休みが取れないこともあると思うんですけども、このPRが大切なんで、例えばこのチラシ、どういうところに配布したりしているのか、また、このチラシはどれぐらい作っているんですか、枚数は。そういうのもあわせてPR活動について、詳細をお聞かせください。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 ただいまの御質問にお答えします。

このチラシにつきましては、作成部数が1万7,000枚。そのほかにこのA3判のポスターになりますけれども、こちらは約200部作っております。

それから配布先でございますけれども、市内の小学校、全児童に配れるように学校のほうには配布しております。それから各市民センター、あと場内の業者さんを通しての配布、それから近隣の市町村のほうにもお配りしております。

以上です。

○渡辺委員 市町村というのは近隣の市町村の例えば商工課とかそういうところに配っているんですか。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 ひたちなか市さんですと、総務課のほうにお配りして、市内のほうに貼っていただくような形にしております。

○渡辺委員 細かい、きめ細かな、できることだけはしっかりやるということが大切で、一番知ってもらいたいのはこの50周年なんだと、50周年にわたって水戸市がしっかり市場の開設理念に基づいて取り組んできた、楽しんでもらうのも大切だけれども、そういうのを知っていただくということが今回のこのお祭りの大きな意義があると思っておりますので、市場長さんにおいてもしっかりその辺のところを受け止めて、この開設者としての水戸市のこれまでの50年の歩み等も含めてしっかり勉強して皆さんにお伝えいただきたいふうに思っております。

以上です。

○飯田委員長 ほかに。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 50周年記念事業「市場まつり」、大変よろしいと思いますが、内容は当然違うと思えますけれども、10周年とか20周年とか30周年、あるいは45周年とかそういうのは過去に、区切りごとにやってきたのかどうかというのを1つ。

それから当然市場の方のお祭りなので、朝早く7時45分から1時というので、これは1時というのは何か少し市民の方にとってもう少し長くやってほしかったかなという気もしないでもないんですが、その辺の理由をちょっと。

あともう1点言っちゃいますね。もう一つは右下に公共交通機関での御来場に御協力くださいとあります

が、これはちなみに水郡線の2つの駅から歩くと大体どのぐらいかかるのか、それからバスというのは通っているのか、その辺だけちょっと確認させてください。

○飯田委員長 宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 まず、各節目の記念事業ということで、市場のほうは10周年、20周年、30周年、40周年と同じような市場まつりということで開催はしております。

それから開催時間が13時までということで設定させていただきましたけれども、市場のほうは通常深夜から早朝にかけて業務を行っております、当日、午後から夕方にかけては、全国各地から大型トラック等により品物が運ばれてきております。そういう集荷作業が行われるため、一応13時ということで区切らせていただきました。

それから公共交通機関ですけれども、水郡線の常陸津田駅、青柳駅ですかね、当日、北側の方を開けますので、常陸津田駅からですと、直線距離で300メートルぐらいになるんですけれども、歩くとやっぱり10分くらい。常陸青柳駅からもちょっと距離はあるんですけれども、歩くとやっぱり20分くらいですかね、そのくらいかかると思います。

バスのほうですけれども、国道のほうを本数は少ないんですけれども走っているようなんですけれども、ただ公共交通機関と書いてありますけれども、バス、電車は厳しいというところで、タクシーとかを使っていたかど。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 多分、市場に行かれる方はもうほぼほぼ大きな駐車場があるので、車で行っている方が99%だと思うんですけれどもね、今後もありますので、アンケートじゃないんですけれども、その辺がどうだったかという検証はちゃんとしてもらって、多分車が渋滞になって、どんどん交代で空くようになれば、それはそれでいいと思うんですけれども、そのときのきちんと整理というか、事故の起きないように、あるいは最近行ってないんですけれども、市場の中でまだ工事しているんですよ、そういうところもあって少ないのかもしれないんですけれども、きちんと整理したり事故のないようにしていただければという要望です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、次に水戸市公設地方卸売市場の都市計画の変更について、執行部より説明願います。

宮田公設地方卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 続きまして、水戸市公設地方卸売市場の都市計画の変更につきまして、公設地方卸売市場提出の資料により御説明いたします。

1の変更理由でございますけれども、水戸市公設市場内の物流機能のより一層の高度化と市場の活性化に必要な施設整備を行うため、都市計画の区域を変更するものでございます。

2の変更する内容につきましては、恐れ入ります、裏面の位置図を御覧願います。

中央の太線で囲んでありますが、現在、都市計画決定されている区域の16ヘクタールでございます。

今回、その北側に約6ヘクタールを追加し、面積約22ヘクタールを区域とする都市計画の変更を行うもの
でございます。

表面にお戻りいただきまして、3の今後の進め方でございますけれども、今回の御報告後、速やかに地元
説明会を行い、来年7月に公聴会の開催、4月に都市計画案の縦覧を実施後、5月開催の都市計画審議会を
経て、6月に県知事協議、そして決定告示の予定でございます。

参考といたしまして、今回対象となる区域の地図と裏面にその拡大図をお示ししてございます。御参照願
います。

説明につきましては、以上でございます。

よろしく願いいたします。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 これの件については、内藤委員さんが運営協議会の副会長さんをなさっていて、これ2期に分
けて整備計画の中で位置づけがされてきたものというふうには承知はしているんですけども、今、区域を
広げるということは、この用地を取得するという事は、要は今後のこの整備計画に基づく古い建屋の解体
とか、またそのときの臨時的ないわゆる場所を確保しなくてはいけないというようなことが、大体大きな要
因ですね。そのほかにも何かあったんだっけ、何か。こういう施設を造りたいとか何か、そういうのが
ちょっと記憶がなくなっちゃったんですけども。

○飯田委員長 宮田卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 まず、再整備計画のほうの中におきまして、環境に優しく災害に強い持続可能
な市場づくりということで、用地の確保を位置づけております。その中で、市場の物流機能の一層の高度化
と市場の活性化を図るために将来的な施設の改築等、こちらを視野に入れまして、隣接地の確保に努めるこ
ととしておりまして、当面、青果部門の荷さばき所、それから加工施設、倉庫とそれから駐車場等の整備を
行ってまいります。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると行く行くは、この駐車場とか、そういうのがメイン的な要素になるわけですね。

それで、これ、再整備の計画の中にも予算が位置づけされていたと思うんですけども、どれぐらいでし
たっけ。

○飯田委員長 宮田卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 再整備の拡張用地のほうの金額になりますけれども、まず、用地費、当時の概
算ですけども、1億円強を予定しております。

それから施設整備、造成工事等々を含めまして、拡張につきましては約13億円くらいを概算で予定して
おります。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そこは、取得しようとするところはどちらかという田んぼ、畑、雑種地。どういう土地だっ
たっけ。

○飯田委員長 宮田卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 取得する予定の用地，民地につきましては全て田んぼということで耕作されております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 大体6ヘクタールの田んぼをメインとした用地取得ということですね。このコロナで、ずっと運営協議会が休みだったもんだから、いわゆる再整備計画がどれぐらい進捗しているかというのが実は把握していないんですよ、ずっと。内藤委員さんも聞いてないんで、やはりしっかりその辺の経緯結果は、市場長さんは示す、また報告する義務があると思うんですよ。ですから、コロナだからってやらないんだというのは分かるけれども、やっぱりやらなくても事業は進捗しているんで、やはりそういうものをしっかり少なくともそういう協議会に行っているメンバーには私は示すべきだと思うんで、その辺のところもしっかり、今後でいいですから、今までのやつを取り返してくれなんてできないのだから、今後はちゃんと進捗状況を示していただければということ強く要望しておきます。

以上です。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 すみません、今後の進め方の最初に令和4年11月に地元説明会とありますけれども、もう今日10日ですから、もう日程というのは決まっているのかなと思うんですけれども、どのような範囲なのかとか、どのようなやり方をするのか教えていただければ。

○飯田委員長 宮田卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 ただいまの御質問にお答えいたします。

地元説明会は、速やかに行うということで、今日御報告後、通知のほうを差し上げる予定としております。日程につきましては、今月28日を予定しております。お呼びする方々につきましては地権者。地権者につきましては、都市計画の説明を行うということも予定しております。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 地元というか近隣の例えばひたちなか市も隣接していると思いますが、そういう範囲には及ばないというか、地権者だけ。

○飯田委員長 宮田卸売市場長。

○宮田公設地方卸売市場長 隣接していますひたちなかの役所とか関係機関，土地改良区等については既に説明を行ってございまして、この地権者の方は、水戸市の方はおられませんで、ほとんどがひたちなか在住の方ということで、高台、近隣の方になります。近隣の方というか、今回は地権者を対象ということでさせていただきます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 特に、地元の方にとってもそこまで詳しく知らせる必要もないかなと思うんですけれども、最終的には何らかの形で報告みたいな感じで広報かなんかで通知されるんでしょうね。そのようになればと思っております。

特に質問ではないので。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、次に令和5年水戸市消防出初式について、執行部より説明願います。
大信消防総務課長。

○大信消防総務課長 それでは、令和5年水戸市消防出初式について御説明いたします。
消防総務課提出の資料に基づきまして説明したいと思います。

目的でございますが、消防職、団員などの消防関係者が一堂に会し、職務遂行に必要な諸般の状況を確認、検査し、規律保持とあわせ、関連団体との連携強化を図るとともに市民参加のイベントによる防災意識の高揚を確立することを目的といたしまして、新春恒例の行事として実施してまいります。

主催につきましては、水戸市、水戸市消防局、水戸市消防団となっております。

日時及び場所につきましては、令和5年1月8日曜日になりますが、8時50分より例年どおり水戸市千波湖の千波公園西駐車場、黄門像の脇になりますがそちらの駐車場にて開催してまいります。

なお、荒天時の予備につきましては、翌日の成人の日になりますが、1月9日月曜日を予定しております。式典の次第につきましては、記載のとおりとなっております。

なお、(1)の式典から(8)の来賓紹介、祝電披露までが式典としてございます。8時50分から約40分程度で式典を実施する予定でございます。

また、式典以外の各種イベントといたしまして、女性防火クラブによるパレード、分列行進、幼年消防クラブによる演奏、はしご乗り演技や消防団員一斉放水、はしご車の搭乗体験など例年どおり実施する予定でございます。

幼年消防クラブにつきましては、3年ぶりに河和田のほうとく幼稚園に出演をお願いしてございます。

消防出初式といたしましては、8時50分から11時までの間で、各種イベントなどを行う予定でございます。

広報につきましては、「広報みと」、市ホームページ、フェイスブックなどを活用いたしまして、市民のほうへ周知を図ってまいります。

感染防止対策でございますが、県のガイドラインに基づき、各種感染対策を講じてまいります。

ページを返していただきまして、その他といたしまして、来賓用駐車場につきましては、恐れ入りますが3ページの会場案内図のほう御参照いただきまして、D51の南側の駐車場を来賓用駐車場として指定、確保させていただきました。

式典参加の延べ人数は約580名を予定しております。

令和5年水戸市消防出初式についての説明は以上でございます。

○飯田委員長 内容について何か御質問等がございましたら発言を願います。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 内容については特にないんですけども、先ほどの市場じゃないですけども、開設50周年となり、この出初式というのは歴史があって、今年はやったと思うんですが、去年はコロナでできなかったかなというふうに認識しているんですけども、いつぐらいから始まって何年ぐらいやっている行事なの

か、ちょっと参考までに教えていただければと思います。

○飯田委員長 大信消防総務課長。

○大信消防総務課長 こちら、ちょっと現在手元に資料がございませんが、水戸市の開催が始まった歴史というのは、こちらで今現在のところ確認ができておりませんが、江戸時代の頃から出初式が始まったというふうに言われておまして、水戸市におきましていつから始まったかというのは、申し訳ございません、手元の資料にはございません。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 結構です。ただ、こうやって消防団員も含めて、女性防火クラブ、皆さんが一生懸命やっていますし、市民の方にも自信を持って伝えていくためにも、後で何か機会がありましたら、これだけやっているんだよという歴史を教えていただければと思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、次にこの際、特に執行部から発言を求められておりますのでこれを許します。

小林参事兼観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 それでは、観光課より委員会の貴重なお時間を頂戴しまして、水戸黄門まつりにつきまして、一言お礼を申し上げさせていただきます。

過日、3年ぶりに開催をいたしました第62回水戸黄門まつりに当たりまして、産業消防委員の皆様方には多大なる御理解と御協力をいただき、おかげさまをもちまして、花火大会、本祭とも大きな事故等なく終了することができました。誠にありがとうございました。

先月の10月22日土曜日に開催いたしました水戸偕楽園花火大会におきましては、新たな試みとして実施しました有料観覧席のほうが全て完売するなど多くの方々にお越しいただき、久しぶりに水戸の地で、国内最高峰の花火をお楽しみいただけたものと思っております。

また、今月の5日土曜日に開催いたしました本祭におきましては、県の三の丸庁舎広場、庁舎敷地内をメイン会場に水戸黄門カーニバル、山車の巡行、みこし渡御、さらには地元の皆様にも御協力をいただきながら、水戸黄門提灯行列など様々なイベントを展開し、にぎわいにつながったところございまして、次回以降の祭りの開催に弾みをつけることができたものと考えております。

改めまして、産業消防委員の皆様方のご理解とご協力に深く感謝を申し上げますとともに、今後におきましてもよりよい祭りの開催に努めてまいりますので、引き続き御指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○飯田委員長 次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら、発言を願います。

安藏委員。

○安藏委員 すみません、2点ほど質問させていただきます。

1点目は今の出初めの話がありまして、これはこれでまた大変だなと思うんですけれども、多分話があると思うんですけれども、この女性防火クラブ、この前の前の委員会で、水戸市で31クラブでしたっけ、各市民センターごとに防火クラブがありますよ。だけど2つないというような、ちょっと確認だけさせてください。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの安藏議員の御質問にお答えいたします。

水戸市内におきまして、女性防火クラブ31団体でございます。内原地区につきましては、1クラブ存在しているんですけれども、現在学区ごとにはないようなんですけれども、現在、内原地区の方と発足できるか調整していますので、今、調整している段階でございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 前回もちょっとお願いというか発言させてもらったんですけれども、内原は3つの市民センターで、妻里、内原、鯉淵とあるんですけれども、今、妻里に女性防火クラブがあって、今、内原でもその話が出てきたという話、何とかしたいという話になっているんですよ。それで、前回の委員会で、私、言ったときに、消防団としてはこのことに関しては関与はしないとできないとかという話が、私ちょっと頭に残っているものですから、そうじゃなくて、やはり34の自治団体がある中で、そういう希望があるところ、あるいはないところに対する御指導といいますか、そういう部分は非常に大事だと思っているものですから、そういう機運があったときには、ぜひ、全面的に御支援をしてくれたほうが自治会としてもいいし、ちょっとその辺について、ないところにはつくるような働きかけをするのか、あるいはそういう機運があったときにはそれに対していろんな指導するのか、その部分だけ再度もう一回聞かせてください。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの安藏議員のお話ですけれども、確かに内原のほうで今、機運が高まっております。先月、内原の方とお話をしてきまして、そういうふうな会議があれば、火災予防課のほうで御説明に行きますというようなことで、今、調整しております。

○安藏委員 だから、ないところに対しての働きかけというのはできないの。

○河原井火災予防課長 今、内原地区につきましては、一生懸命働きかけている状況でございます。

○安藏委員 だからそうすると、例えばそこができればもう1か所残っちゃうわけですよね。市民センター管轄としては。要はそこに対する働きかけというのはやらない、できない、どっちなの。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの質問ですけれども、こちらとしては一生懸命進めていきたいと思っております。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 もう合併して17年なんですけれども、ようやくそれができると内原もそういう部分でも同じになれるのかなという期待があります。

それで、私も予算書を見てないんでちょっと覚えがないんですけれども、この部分に対する予算措置とい

うのは何かあるんですか、ないんですか。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 女性防火クラブにつきましては、水戸市のほうから150万円ほど補助金が出ておりまして、そちらを各クラブのほうに配布している状況でございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 ということは、今の時期なんで、来年度はその分は全体の中の予算なんで、その部分はどういうことでいいですね。だから、予算的な話は今の時期なんで、来年度予算にはそういう今はないところ、今後できるところの部分を含めた予算の考え方ということはある、なし。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの御質問なんですけれども、150万円につきましては、クラブの数にかかわらず、いつも150万円ですので、増えれば割合が減るというような状況で、発足に関しまして、まといとはっぴのほう大体準備するんですけれども、そちらは別の予算のほうで計上しているというような状況でございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 分かりました。

大事な組織だと思うんですよ。こういう時期で、やはり何かがあるか分かんない、女性防火クラブの働きというのは本当にソフト部分で大事な部分でありますので、ぜひ前向きにその部分でも検討していただければありがたいと思います。

あと、もう1点なんですけれども、2点目、これ農政課だか農業振興課だか分かんないんですけども、認定農業者の皆さんにこういう紙が——化学肥料から産業副産物を活用した肥料、堆肥等への転換を支援しますという認定農業者等の方に一斉に配布がありまして、私のところにも来て、これはすばらしい事業で、これ県の事業らしいんですけれども、市から来たんで、これをぜひ推進していただきたいと思って期待しているんですけれども、いかんせん、今日は11月10日で、提出期限が11月18日ってこれいつものパターンらしいんですけれども、国から県へ来て、県から市へ来て、市に来たのが恐らく10日前、2週間くらい前かな。そういう通知が来たんですけども、いかんせんこれでは準備期間がなくてどうしようもないという話が耳に入ってくるんですよ。

だからこの部分で、県央農林事務所、農業振興課へ問い合わせしてくれというような通知なんですけれども、ちょっと何かこれ、今一番メインのあれですよ、農業振興の中でこの部分が一番メインのことなんで、何か県のほうへの働きかけみたいのはできないものなのか、ちょっと聞かせてもらえますか。

あと、この事業に対する申請が今、あるのかなのか、ありそうなのか、ちょっとその辺もあわせて聞かせてください。

○飯田委員長 永盛農産振興課長。

○永盛農産振興課長 ただいまの安藏議員の御質問にお答えいたします。

まず、期間については確かに短い中で今回通知をお出ししました。県からのチラシが、こういうものができましたとごく最近いただいたものですから、それを受けまして、市としては速やかにお出したところで

す。期限が確かに短いので、まずは御相談いただいて、こういうのをやりたいんだということがあれば、そこを相談に乗りまして、可能かどうか分かりませんが、どうしても期限のほうにまとまらないというのであれば、県のほうにはできる限り何とかというところで御相談はしたいとは思っておりますが、そこは一応期日は切られてしまっているんで、今のところ確かなところは言えません。

それから、申請状況なんですけれども、やはり皆さん御関心があるようで、数件、御相談はいただいております。申請できるように我々もお手伝いしているところでございます。

以上です。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 今の話、大事なところなんで、ぜひ、これは市はあくまでも流れの中の話ですよ。これ、私、何回もしつこく言っているんですけれども、ぜひ今の課長さんの言われたことで、申込みがやりたいんだけど無理だよというときには、ぜひ柔軟に対応して、この貴重な事業を1人でも2人でもいいんで、こういう事業をやったりやっていかないと、本当に大事だと思うんで、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

今朝もちょっとそういう話をしたら、やりたいんだけどという話を直に聞いてきたもんですから、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 その他なんで、あれなんですけれども、まずちょっと今、安藏議員さんの女性防火クラブの件で、いろいろずっと思い出したこともあったんで、ちょっと意見として述べておきますけれども。

ちょうど内原との合併のとき、私、副議長をやっていたんですよ。そのときに合併協議会というのが設立されて、様々な議論をさせていただいて、ちょうど内原は大関修右さんが副議長で、いろいろ大変でしたけれども、その中で要は合併協議会の中で、例えば1小学校区に市民センターを配置するとか、またその市民センターの中に、そういう様々な各種団体を水戸市と同じようなレベルで持っていきましょうというようなことで合併協議会で決まったはずですよ。ですから、やはり今日、副市長さんも来ていらっしゃるんであれなんですけれども、この合併協議会で決まったことを実行する、履行するということは、これ約束事なんで、例えば小学校区ごとに市民センターが配置されたということも協議会で決定されたことですから、ぜひ各種団体のほうもしっかりそういうものがあって、合併して今現在に至っているというようなことをしっかり伝えて、この防火クラブ、女性防火クラブ、どっちかというこれシンボリックなもので、実際活動したり消火に行ったりというんじゃないんで、その団体が出ることによって、「あ、そうか、火に気をつけなくちゃ」とかそういうものを見たり、また防火クラブの話を聞いたりして、そういう意識の高揚を図るという大事な役目があるかと思っておりますので、実際は消火とかそういう活動はしないにしても、やっぱり存在していること自体が安心への担保になるというように感じておりますので、ぜひ積極的に皆さんからもそういうものの設立に向けて、話していただきたいというふうに思っております。

それと、幾つかあるんですが、野村花火さんが総理大臣賞を取りましたよね、花火のほうで。例えば、観光とはちょっと離れちゃうんですけれども、水戸市のほうでは、例えばそういう総理大臣賞とか、何かグ

レードの高い賞を取ったときに何か顕彰をする、いわゆる表彰したりするような、そういうものってあるんですか。例えば、名誉市民とかというようなものもあるようなんですけれども、名誉市民にはならないような気がするんですけども、何か、顕彰するようなそういうシステムみたいなものはないんですか。

○飯田委員長 小林参事兼観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 ただいまの渡辺委員からの御質問でございますが、本市の水戸偕楽園花火大会のほうで、毎年お世話になっております野村花火工業様につきましては、過日の土浦の全国花火大会において、優秀な成績を納めたということで、新聞報道等でも広くPRされたところでございまして、私ども水戸市としましても大変誇らしいことだというふうに思っております。

御質問の内閣総理大臣賞等の受賞に際しての水戸市からの何というんですか、受賞というか、そういった制度にございましては、それについての賞はないんですが、過去に文化栄誉賞を吉田館長と共に野村花火工業様のほうには授与しているという経緯がございまして。

〔「名誉市民」と呼ぶ者あり〕

○小林産業経済部参事兼観光課長 文化栄誉賞だったと記憶しております。芸術館の吉田館長と野村花火工業のお二人。

○渡辺委員 水戸市から。

○小林産業経済部参事兼観光課長 はい、水戸市からの賞でございまして、名誉市民というようなニュアンスだと思いますが、全国に誇れる水戸の宝ということで、引き続き野村花火さんとともに水戸の偕楽園花火大会のほうをクオリティーをもっと上げて全国にもっと知らせていきたいというふうに考えております。

よろしく申し上げます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ありがとうございます。

過去にもう、そういうのに値するものはもらっているから、まあいいだろうということなのかなと思いますけれども、今後の考え方として、スポーツでもそうですよね、例えば全国大会で優勝したとか、例えば産業経済でいえば納豆の品評会で金賞を取ったとか、またB級グルメで優勝したとか、そういう人たちのために、また業界の励みにもなるようなそういう考え方もあっていいのかなとちょっと感じたものですから、質問したところなんで、今後そういうときに素早く対応できるようなそういうシステムというのもありなのかなと思っておりますので、意見として申し上げておきます。

それとあと意見はあと2つなんですけれども、先ほど公設市場の話がありましたよね。ちょっととつぴもない話なんですけれども、1回本会議で言っているんですよ。要は公設市場の場所が独立しちゃって、車しか行けないという話なんですよ、車でしか行けない。それで、水郡線、常陸青柳駅と常陸津田駅の間、降りただけでいいんだから、あそこに簡易な駅を造って、公設市場駅も止まるようにしたらどうですかということの本会議で言っているんですよ。そんなこと聞いてらんねえというような話だったんですけれども、要は今後、一つのエリアとして、公共施設があるということはまちづくりには大きな都市にはポイントになるかと思えますし、また今度はエリアを広げるというようなことなんで、例えばJR、今、水郡線の利用者が少ないと言っている。少ない、少ないと言っていたら何もしなければ少なくなってきましたよ、これからどんど

ん。だったら、人を増やすための努力をしたらいいでしょとJRに言っているんだけど、そういう行ったり来たりの電車でもいいんですよ。何時間に1本しか通ってないなら1両だけでいいんだから、行ったり来たりするような形で公設市場をもっと飛躍的に人を入れるような、また買物も、ここは市民が入るところじゃないんだけど、そういう利便性も高めることがあの周辺、公設市場を中心に有用な住環境が整備されてくるのかなという気がいたしておりますので、意見として述べておくので、宮田市場長にしっかり受け止めてもらって、次の人にバトンタッチしていただければと思います。

あと、もう一つこれも要望なんですけれども、今、第7次総合計画の基本構想ということでやっているかと思うんです。今、令和5年度に向け基本計画を立てるわけなんですけれども、今の駅なんかもそうなんです。また、もう一つこの水郡線に関しては、マルシェをやるリリーアリーナの近くに黄門さんの漫遊さくら堤というのがあるんですよ。みんなあんまり覚えてないと思うんですけれども、今、あそこの桜が堤防上にあるので育ちが悪いですよ、普通のところに植えるよりも。やっとなの腕ぐらい、大人の腕ぐらいまで太くなってきて、きれいな花が咲くようになりました。

何で漫遊さくら堤と言っているかという、日本さくら名所百選から頂ける桜の苗木をもらって植えたわけです。北はきつと厚岸ですね。根室の厚岸だと思ったな、厚岸の清隆寺の千島桜からずっと、あれは小樽じゃなくて、あの辺のところは桜がたくさんありましたね、もう1件ありましたね、いいのが。弘前城の石割桜とか、ずっとその苗木をもらって、一番南が長崎の大村神社の桜とあと鹿児島島の忠元桜かな、そこが入っているはずなんです。やっとなそれが、見事に桜を咲くようになってきました。

紀三井寺のしだれなんていうのはみんなが欲しいようないい桜の苗木もやっとなしだれていいのが咲くようになってきたんで、できれば今後の観光行政とか商工行政また別の考え方、例えば教育行政の中で、何もわざわざ全国漫遊しなくても、桜見て北から南まで行けるよと。幸いみんなが一斉に同じ時期に咲くんですよ。北海道の根室の厚岸の桜もちゃんとみんなと一緒に咲くんです。厚岸にも咲くのは大体5月の末ですよ、桜咲くのは。それが一緒に咲くんで、一斉に咲いた桜、苗木、下に全部書いてありますから、どこの桜というのが。

やっぱりこういうものを我々地域の財産として、しっかり今度位置づけして、何か桜を回るようなバスが走ったりしていますけれども、そういうものも含めて、市民にもっと知ってもらって、要はこれはあくまでも桜の苗木は、堤は手段なんです。それを通しての大きな目的は、黄門様を思い出してもらいたいということと、子どもたちに自然を守る考え方、環境を保全する考え方、それが自分たちの水戸を愛する心につながってもらえればというのが目的なんです。まさしく堤が手段なんです。そういう意味でぜひ観光業のほうメインになるかと思うんで、よく関連するこの庁内の関係課と連携を図りながらそういう位置づけをしていただくと。もう金はかかんないんですから。

やっとな今、公園緑地課を通して公園協会が管理することになったんです。今まで地元の人たちが水やりをしていたんですよ、肥料も。何しろみんな年とっちゃって、大変なんです、水やりが。体育館から長いホースを持ってきてチョロチョロ水流してたんだけど、やっとな公園協会のほうで位置づけがしっかりできて、肥料もやっていただいたり、水やりとか手入れをしてもらっていますので、今後、そういうふうに移管されたというのを機会にさらにスポットを当てていただければということをおきまして。

以上です。

○飯田委員長 ほかに。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 すみません、貴重な時間、その他で。

ちょっと水戸大使についてのその他で質問させていただくんですけども、その前に先ほど課長のほうから黄門まつり本祭の報告と花火大会の、私もひこねの城まつりに行かせていただきまして、そこもたくさん観光客の方が来ていましたけれども、それに負けず劣らず本当に夜にもかかわらず皆さん、私も歩いてずっと回って、参加はしなかったんですが、一市民として見て、本当に皆さんの喜んでいる姿が、黄門さんもうらっしゃって、すばらしい。

それで、今まで菊花展もやっていますし、先ほどありました市場開設50周年記念事業、また秋の商工マルシェ、消防出初式と、この委員会はいろいろ行事が、イベントがたくさんあって、本当に年間通じて感謝申し上げたいと思います。

そこで、そういうすばらしいこの水戸市をPRしてもらうためにも、水戸大使の会というのが先々月ですが、9月29日に3年ぶりに水戸大使の会ということで懇談会が開催されまして、私もそこに出席させていただきました。

そこで、まず水戸大使につきまして、どのようなことから生まれたのかというか、趣旨ですね。

それから、これがいつぐらいからこの水戸大使というのができているかというのをまず1点目としてお聞きしたいと思います。

○飯田委員長 小林参事兼観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 ただいまの五十嵐委員からの水戸大使に関する御質問にお答えをいたします。

この水戸大使制度につきましては、本市の観光とイメージアップを図るということを目的に、全国に我がまち水戸を紹介していただくために平成10年2月に制度ということでスタートさせたものでございます。この水戸大使の会というものがございまして、大使の方同士が親睦を深めたり交流を深めたりというところで、また本市の観光に資するいろいろな御意見を頂戴するというところで、こちらは平成16年9月に発足しております。委員の御意見にもありましたように、今年度は9月29日に3年ぶりに開催したというところで、委員にも御出席をいただいております。ありがとうございます。

そういった交流を深める活動、御意見を頂戴するというところももちろんでございますが、私どもの黄門まつり等たくさんの行事、オセロ大会などにも御協賛をいただいたりということで、各方面御協力のほういただいているところでございます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 水戸のオセロのバッチもつけてもらって、その9月のとき、二十数名の方がお越しになっておられたというふうに記憶しているんですけども、この委嘱者数というんですか、この人数というのは登録というか水戸大使の方が今現在どれぐらいの数いらっしゃるんですか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 五十嵐委員からの御質問にお答えをいたします。

水戸大使のほうですが、民間で御活躍されている方をはじめ、お住まいの地域でボランティア活動されている方とか、芸能関係の方とかというのを含めまして、先月末現在で89名の方に委嘱をしております。

よろしく申し上げます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 多分、たくさんいたほうがいいのかと思うんですが、大使になるために何か条件というものはありませんでしょうか。

○飯田委員長 小林参事兼観光課長。

○小林産業経済部参事兼観光課長 御質問にお答えいたします。

水戸大使として御活躍、御活動いただくためには、まず本市の出身であること、あるいは一時的に本市にお住まいになった方でも結構でございますが、そういった方、さらにゆかりのある方、例えば水戸黄門とかに出演されていた方とかそういった方も入っておりますけれども、そういった方の中から本市のPRに努めていただける方を大使としてお願いしているというところでございます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 分かりました。

先日、茨城県のホームページも茨城大使の委嘱状交付の10月12日ですか、有名な方が出ておまして、アナウンサーとか気象予報士さんとか、大学の教授の方とかが出ていましたけれども、今回質問するのにちょっといろいろ水戸市の出身者って調べたら結構かなりいるんですね。私も記憶にあるのが一世を風靡しました大相撲の竹内雅人さんと武双山正士さんと水戸泉政人さんと、まず有名な人がいますし、出身が水戸市って出ているんですけれども、全員が水戸市なのか、何かでなるのか分かりませんが磯山さやかさんとか加藤万里菜さんとかたくさんいます。本当にスポーツ界から芸能界まで幅広くいらっしゃいますし、ぜひともいろんな形でホームページを使ったりSNS使ったり、例えば私、個人的にも同級生がアナハイムに企業人として行っていたりして、水戸市とアナハイムの交流のときにお会いして、そういう方もいらっしゃいます。幅広くいらっしゃるの、私は今日質問したのは、これだけすばらしい水戸市の自然環境とこういう行事とかやっているわけですから、どんどんイメージアップしてPRしてもらうことが大事だと思いますので、そういった意味では私たちでできない範囲の仕事を——仕事と言っちゃ申し訳ないですけども——取りかかっていたらと思いますので、できるだけ工夫して多くの方に声かけてやっていただければ、これから水戸の発展につながっていくんじゃないかなということで質問させていただきましたので、貴重な時間でしたけれどもよろしくお願いたします。

○飯田委員長 今の答弁は。

○五十嵐委員 意見です、要望です。

よろしくお願いたします。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会いたします。
御苦労さまでした。

午前11時 6分 散会